

学園 ニュース

AIを活用した新たな

グローバル人材を輩出する学園の未来を夢見て

学校法人 菊武学園 理事長 高木 弘恵



現状を視察してまいりました。インドは、世界的IT企業やスタートアップ企業やスタートアップ企業のようなグローバル企業のトップにインド出身の人が就いており、この人達のようなグローバル人材が母国でどのような教育を受けて育ったかが世界中から注目されています。

連日猛暑日が続いた令和6年度です。菊武学園で学ぶ学生、生徒、園児約4000名の在校生の皆さんは元気で頑張っていますか。保護者の皆様には、これまでと変わらないご支援に心より感謝申し上げます。教職員の方々にも日々の愛情教育のご尽力に心より感謝申し上げます。私は、8月のお盆に日本より更に暑いインドに行き、インドの教育の

近年、AIやビッグデータといった科学技術の進歩等により、世界は急速に変化し、世界で最も多くの若者人口を抱えるインドでは、この若者たちに質の高い教育の機会を提供するために、脳の発達85%以上は6歳までに起こることに着目して幼児教育を重視する教育内容の改革に取り組む、学校制度がこれまでのスタートを3年早めた形で3歳から始ま

る「5-3-3-4制」に変更されました。インドの私立校は、幼稚園から高校までの一貫校であることが多く、最新の設備と高度なカリキュラムを備えており、学生に多様な学びの機会を提供しています。

や問題解決、教科の垣根を超えた創造的思考、インノベーションや変化への適応法を学ぶことに重点が置かれています。そのために、教育は論理的な思考力や人間としての生き方を問われる「全人的教育」がモットーで、経験的・探究的な、ディスカッションベースのものに進化する必要があるとされています。同時に、柔軟で楽しい教育という点も重視されています。これらは、本学園の教育方針に似た内容のものであり、私の目指すところでもあります。

ことが日本よりも身近な環境にあります。また、インドの新しい教育方針では、従来の暗記型教育から「学び方を学ぶ」教育へと転換が強調されており、クリティカルシンキング

Society 5.0時代に必要なのはIoTやAI等の先端技術をおよぼる分野に取り入れることで、すべての人の豊かな暮らしを実現する未来社会の姿です。少子高齢化によ

を設置します。通信教育課程は、社会人としての広い視野と理解力を持ち、経済・経営の基礎的、専門的な知識・能力を修得し、社会変化への対応力を身に付け、現代のビジネスが抱える課題に対応できる人材を育成します。

最新技術を用いて、バーチャルキャンパスを開発し、バーチャルキャンパス上で学生支援や学生交流の場づくりを行うとともに、企業と連携し、メタバースを利用した

令和7年4月 名古屋産業大学に 通信教育課程を新設

名古屋産業大学では、令和7年4月より既設の現代ビジネス学部にて「現代ビジネス学科通信教育課程」(定員200名)が新設されます。現代の産業界では、VUCA(ボイカ)といわれる予測困難な時代に直面する中で、自分に合った学び方を求める若者や社会に出てから学び直しを希望する社会人に、多様な教育機会を提供するため、通信教育課程

通信教育課程では、経済学、経営学の知識をベースに、社会の変化に対応する際に必要となる「情報マネ

ジメント」「環境マネジメント」「人材マネジメント」の能力を身に付けることができます。また、未来の自分づくりのためにいつでもどこでも自分の生活スタイルに合わせて、デジタル時代の新しい学びのスタイルで授業が受けられます。

好きな時に好きな場所で好きな世界に打ち込む
わがままな大学生活
名産大で目指す
大学卒業・
教員免許取得
ビジネスを学ぶ

時間や場所にとらわれない
デジタル時代の大学

名古屋産業大学 現代ビジネス学部
現代ビジネス学科 通信教育課程
定員200名

コミュニケーション力や就業力を身につける機会を提供します。

KIKUKA MARIO WORLD 展示

生徒たちが9月の文化祭で、JCV（認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会と協力し、ワクチンで助かる小さな命を救いたいという思いで集めた3万個のペットボトルキャップを使い作った「KIKUKA MARIO WORLD」を体育館の外壁に展示しました。

文化祭までの期間、ペットボトルキャップの回収、洗浄、塗装や各クラスの作ってもらうマリオキャラクターの下絵など、準備を行うために必要な人数がなかなか集まらない中でも、生徒たちはみんな一生懸命頑張っていました。また、前期生徒会は、文化祭に向けて自分の考えた企画と向き合い、夏休み期間や台風10号が接近していた時期にもかかわらず、企画を完成させるために力を合わせていました。

文化祭前になんとか作品を飾れる状態になり、文化祭当日は、体育館の外壁を埋め尽くすようにマリオキャラクターでいっぱいになりました。全体に統一感のある印象を与える作品となり、生徒みんなが写真を撮っていました。その光景を見て達成感を感じることができ、とても嬉しい気持ちになりました。

JCVを通じてワクチンに変え、開発途上国の子どもたちにワクチンを届けたいと思っています。



▲文化祭で展示した KIKUKA MARIO WORLD

「東海地区高校生介護技術コンテスト」出場

菊華高等学校保育・福祉コースは、毎年「愛知県高校生介護技術コンテスト」に出場しています。今年で第10回を迎え、7月13日に開催された「第10回愛知県高校生介護技術コンテスト」(愛知県高等学校福祉教育研究会主催)に出場した3人の生徒は、福祉を学び始めて3か月余りでしたが、今できるすべてのごちを出し切って自主練習をしたり、コースの先輩たち

からの熱いアドバイスを受けたいたり、たくさんの方の努力の結果、東海大会へのチャンスをいただくことができました。そして、8月23日に開催された「第9回東海地区高校生介護技術コンテスト」(東海地区福祉高等学校長会主催)では、福祉を学ぶ高校生たちや応援いただいた様々な方との新たな繋がりになりました。全国大会へのチャンスを得たことが

できませんでしたが、身近で応援してくれた家族や友人、先生方への感謝の気持ちも大きくなりました。1年生3名で立ち向かった介護技術コンテストは、心の成長のきっかけとなる経験となりました。



▲介護技術コンテストに臨む生徒

「ふれあいコンサート」ダンス披露

ダンス部は、10月12日と10月13日の2日間におたり、陸上自衛隊守山駐屯地で開催された「第10師団創立62周年・守山駐屯地創設65周年記念行事」に参加し、「ふれあいコンサート」に出演しました。

今回は、陸上自衛隊第10音楽隊の隊員の方々が「キクカダンス」の桜色舞うころ「ジャンボリズムキー」を演奏され、その演奏に合わせてダンス部



▲ふれあいコンサートで熱演するダンス部

が踊る素敵なコラボレーションとなりました。生演奏で踊ることができ、部員たちは身体だけでなく、心も躍るような非常に貴重な経験をさせていただきました。

菊武ビジネス専門学校

三代目「TSUBASA」

東北地域の継承活動

菊華高等学校と菊武ビジネス専門学校との生徒20名は、7月27日から7月31日の5日間、宮城県気仙沼市小泉地区を中心に東北地域活動を行いました。今年も気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館や高野会館などの見学、語り部の方の体験を聴講、震災時を想定した自炊活動など数多くの貴重な経験をさせ

ていただきました。また、桜で想いが繋がるよう、昨年に引き続き、桜の木を10本贈呈しました。さらに、国府宮神社で有名な厄除けのお守りである備追布(なおいぎれ)を模して備追綱をたくさんつくり、「出会えたご縁を強く繋ぎ、天災や厄を追い払う」という思いを込め

て、お世話になった方々へ贈呈しました。「繋ぐ万感咲かせる」という思いを込めて、お世話になった方々へ贈呈しました。



▶震災遺構の見学



▶備追綱の贈呈

の最初の文字を取って付けられたTSUBASAの3代目として、貴重な体験から東北の地で得たことを文化祭などで仲間たちに伝えていきたいと思えます。

「同好会」今年も誕生

令和6年度の1学期は、書道が好きになる人が集まり美を追求する「書道同好会」、おもしろ動画を撮影・編集する「動画編集同好会」、入学式や卒業式での校歌斉唱や文化祭などでの発表を目指す「合唱同好会」が誕生しました。校舎の隅やプラントナーにゴーヤやオクラ、ブルーベリー等を育てる非公認の「園芸部」も頑張っ

ています。2学期は演劇好きが集まって、学校行事での発表に向けて台本作成から発声練習までコツコツ行う「演劇同好会」が増えました。



▲今年誕生した同好会

CBCテレビ「チャント!」で 本校の授業が紹介される

「チャント!」の番組内の「マダ学校に向かいます」(6月10日放送)のコーナーで、東海地方の学校で行われているユニークな授業として、「フラワービジネス」の授業が紹介されました。お笑い芸人のマヂカルラブリーのお二人が来校され、学生たちの表情を汲み取りながら、学生と一緒にフラワー実習の体験の模様や学校生活の様子を取材していただきました。



▲ドライフラワー作品に取り組みマヂカルラブリー

学生たちも徐々に緊張がほぐれて、とても和やかな時間の中で、自分の作品がテレビに取り上げてもらえる嬉しさもあり、自分の作品をしっかりとアピールしながら、生き生きとした表情でインタビューに答えています。マヂカルラブリーのお二人が、時には学生の作品にツッコミを入れる場面もあり、真剣に話を聞き入れながら、先生を交えてのお話に笑いありで和気あいあいとした授業となりました。マヂカルラブリーのお二人にもドライフラワー作品を作ってもらい、学生たちは

1年生はじめての「ドレスショー」

作りあげていきました。当日はお客様を笑顔にすることができ、大成功を収めることができました。



▼ドレスショーの様子

期間限定「エステサロン」オープン

トータルビューティ科2年生が、期間限定のエステサロンを校内でオープンしました。エステの授業で培った技術を活かして、お客様一人一人に合わせた施術を行いました。お客様にも喜んでいただけて、とても幸せな顔をされていました。



▼エステサロンの様子

稲葉保育園

「地域とのふれあい交流会」開催

9月の敬老会前に「稲葉ふれあいサロン」に参加されている稲葉・北山・西の野地区のシニアの方々をお招きして交流会を開催しました。当日は、年長児がお花を生けるところをお見せし、抹茶を点てておもてなしをしました。また、大型紙芝居を見たり、体操を一緒にしたり、シニアの方の大正琴の伴奏で童謡をみんなで歌ったりして交流を深めることができました。



▲メッセージカードのプレゼント ▲歌のプレゼント

菊武幼稚園

「2024秋の運動会」開催

菊武幼稚園では、10月5日に園庭にて運動会を開催しました。お天気が心配されましたが、当日は運動会にはちょうど良いお天気となり、年中組、年少組、年長組、満3歳児クラスと学年ごとに時間を分けて開催しました。満3歳児クラスの初めてのかけっこでは、園児たちが笑顔でママ・パパに向かって走っていくかわい姿が見られました。また、年長組のプリティパレードでは、日頃の成果を遺憾なく発揮し、お



▲年長組「プリティパレード」を披露

学校法人菊武学園財務諸表 令和5年度 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

資金収支計算書		活動区分資金収支計算書		事業活動収支計算書		貸借対照表	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,962,209	学生生徒等納付金収入	1,962,209	学生生徒等納付金	1,962,209	固定資産	12,587,160
手数料収入	36,622	手数料収入	36,622	手数料	36,718	有形固定資産	10,213,894
寄付金収入	3,498	寄付金収入	3,498	寄付金	3,670	特定資産	2,300,302
補助金収入	888,896	経常費等補助金収入	885,545	経常費等補助金	885,545	その他の固定資産	72,964
付随事業・収益事業収入	12,674	付随事業収入	12,674	付随事業収入	12,674	流動資産	2,233,924
受取利息・配当金収入	12,971	雑収入	43,140	雑収入	43,424	現金預金	2,085,107
雑収入	43,140	教育活動資金収入計	2,943,688	教育活動収入計	2,944,240	未収入金	45,683
前受金収入	515,831	人件費支出	1,683,004	人件費	1,684,066	その他	103,134
その他の収入	137,090	教育研究経費支出	545,597	教育研究経費	815,057	資産の部合計	14,821,084
資金収入調整勘定	△ 513,672	管理経費支出	235,529	管理経費	260,264	固定負債	508,563
前年度繰越支払資金	2,011,068	教育活動資金支出計	2,464,130	徴収不能額等	1,050	長期借入金	100,000
収入の部合計	5,110,327	調整勘定等	47,199	教育活動支出計	2,760,437	長期未払金	77,409
人件費支出	1,683,004	教育活動資金収支差額	526,757	教育活動収支差額	183,803	退職給付引当金	331,154
教育研究経費支出	545,597	施設整備等活動資金収入計	63,351	教育活動外収入計	12,971	流動負債	799,827
管理経費支出	235,661	施設整備等活動資金支出計	485,666	教育活動外支出計	408	短期借入金	50,000
借入金等利息支出	408	調整勘定等	37,391	教育活動外収支差額	12,563	未払金 ※1	55,107
借入金等返済支出	50,000	施設整備等活動資金収支差額	△ 384,924	経常収支差額	196,366	その他	694,720
施設関係支出	186,877	その他の活動資金収入計	14,804	特別収入計	5,141	負債の部合計	1,308,390
設備関係支出	98,790	その他の活動資金支出計	82,598	特別支出計	7,482	純資産の部	
資産運用支出	200,302	その他の活動資金収支差額	△ 67,794	特別収支差額	△ 2,341	基本金	18,220,252
その他の支出	137,923	支払資金の増減額	74,039	基本金組入前当年度収支差額	194,025	第1号基本金	18,005,252
資金支出調整勘定	△ 113,342	前年度繰越支払資金	2,011,068	基本金組入額合計	△ 32,658	第2号基本金	20,000
翌年度繰越支払資金	2,085,107	翌年度繰越支払資金	2,085,107	当年度収支差額	161,367	第4号基本金	195,000
支出の部合計	5,110,327			前年度繰越収支差額	△ 4,868,925	繰越収支差額	△ 4,707,558
				翌年度繰越収支差額	△ 4,707,559	翌年度繰越収支差額	△ 4,707,558
						純資産の部合計	13,512,694
						負債及び純資産の部合計	14,821,084

※1の未払金には期末退職者退職金が31,366千円含まれています。
※減価償却額の累計額の合計額8,217,921千円

『合同大学祭』

多くの来場者でにぎわう

「Progress」 皆んなとやるから 意味がある」をテーマに、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の合同大学祭が10月12日、13日の2日間開催されました。実行委員の学生が中心となり、企画・準備から取り組んだ各ゼミによる模擬店やゲームコーナーなど盛りだくさんのイベントが行われ、ご来場いただいた皆様の笑顔が溢れるお祭りになりました。

オープニングセレモニーでは、スカバンド「ラフオーケストラ」の迫力ある演奏が行われ、会場域であることを示す看板（アダプトサイン）が、市道に面した本学の植え込みに設置されました。

「アダプトプログラム」認定で地域美化に貢献

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、地元・尾張旭市内の道路等の公共施設を一定区間の美化・清掃活動に取り組み、尾張旭市公共施設アダプトプログラム（里親制度）の活動団体として認定され、7月29日に活動区



▲アダプトサインと短大別科



▲ダンスサークルのダンス披露

作家の乙武洋匡さんが特別講義

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の合同講義のゲスト講師に作家で活躍の乙武洋匡さんをお招きし、6月11日に特別講義が行われました。特別講義では、乙武さんが「どういった状況を障がいと考えるか？」と学生たちに問いかけ、具体例を10個挙げ、障害とどうか思わないか、そう判断する理由を学生たちと意見交換しました。



▲乙武洋匡氏による特別講義

『令和6年度公開講座』開講

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、地域貢献の一環として一般市民や保護者の皆様を対象に公開講座を実施しています。令和6年度は6月29日から12月14日にかけて、本学教員が自身の研究分野に基づいて49講座を開講し、子育て・美容・介護・健康・ビジネススキルアップなど毎日の暮らしや勉強に役立つ講座を行います。



▲唄って、踊って、太鼓で遊ぼう！！

『平子の森』

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、今年も尾張旭市近郊の小中学生を対象に「平子の森」（尾張旭市平子町北地内）を活用した「夏休み体験講座」を7月25日から8月20日にかけて計4回開催しました。

夏休み体験講座を開催

「平子の森」では、樹木を観察して、代表的な木の種類を学び、お気に入りの葉っぱでしおりを作りました。その他、「平子の森の木を利用したワークショップ」や「平子の森の体験をA1でイラストにしよう！」を行うなど、平子の森の資源や環境を活かして行われたバラエティに富んだ体験講座をおして、多くの子どもたちが楽しい夏の思い出を作りました。



▲平子の森の樹木講座



▲ドローンを飛ばしてみよう！



▲ゲーム・プログラミング